



笑顔の郷

号外

令和三年六月発行

社会福祉法人 齊慎会
特別養護老人ホーム西之島の郷

新型コロナウイルス予防接種の様子と接種スケジュールについて

皆様ご承知の通り、コロナワクチンについても、高齢者を対象に徐々に接種が進んでおりますが、高齢者施設での大規模クラスターの危険を鑑みて、高齢者施設ワクチン接種事業が進められております。

西之島の郷でも5月よりファイザー社のコロナワクチン接種が始まっています。今回はワクチン接種の様子と接種スケジュールについてご案内をさせていただきます。

なお、ご面会については、変異株などの影響を鑑み、引き続きオンライン面会でのご対応となりますことをご了承いただきたく存じます。



【写真は令和3年6月11日接種時の様子です】



ワクチン接種スケジュール		接種日／接種人数【○1回目接種・◎2回目接種】							
フロア／ユニット		5/20	5/21	5/27	5/28	6/10	6/11	6/17	6/18
2階	ときわ街	○10名				◎10名			
	つぼみ街	○10名				◎10名			
	ひかり街		○10名				◎10名		
	みのり街		○10名				◎10名		
3階	みどり街			○10名				◎10名	
	かおり街			○9名	○1名			◎10名	
	つばさ街				○10名				◎10名
	きぼう街				○10名				◎10名
職員		○20名	○20名	○16名	○14名	◎20名	◎20名	◎16名	◎14名

接種を終えたご入居者、職員とも、大きく体調を崩すことなく、接種前と同様の生活を送ることができています。副反応による発熱や倦怠感などの症状が現れた職員（数名）、ご入居者（数名）についても現在は改善されています。令和3年6月18日に全ご入居者、関係職員のワクチン接種が終了予定となっております。

ファイザー社の新型コロナワクチンと変異株について

・ワクチンの種類

本剤はメッセンジャーRNA (mRNA) ワクチンです。SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質 (ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質) の設計図となる mRNA を脂質の膜に包んだ製剤になります。本剤を接種し、mRNA がヒトの細胞内に取り込まれると、この mRNA を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

・有効性について

新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。(発症予防効果は約 95%と報告されています。) なお、本ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経って以降とされています。現時点では感染予防効果は十分には明らかになっていません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

・安全性について

主な副反応は、頭痛、関節や筋肉の痛み、注射した部分の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。万が一、ワクチンの接種によって健康被害が生じた場合には、国による[予防接種健康被害救済制度](#)がありますので、お住まいの各自治体にご相談ください。

◆ 新型コロナウイルス感染症 (変異株) について ◆

一般的にウイルスは増殖や感染を繰り返す中で少しずつ変異していくものであり、新型コロナウイルスも約2週間で一箇所程度の速度で変異していると考えられている。国立感染症研究所は、こうした変異をリスク分析し、その評価に応じて、変異株を「懸念される変異株 (VOC)」と「注目すべき変異株 (VOI)」に分類※1している。

新型コロナウイルスの懸念される変異株 (VOC)

PANGO系統 (WHOラベル)	最初の検出	主な変異	感染性 (従来株比)	重篤度 (従来株比)	再感染やワクチン効果 (従来株比)
B.1.1.7系統の変異株 (アルファ株)	2020年9月 英国	N501Y	1.32倍と推定※ (5~7割程度高い可能性)	1.4倍 (40-64歳 1.66倍) と推定※ (入院・死亡リスクが高い可能性)	効果に影響がある 証拠なし
B.1.351 系統の変異株 (ベータ株)	2020年5月 南アフリカ	N501Y E484K	5割程度高い可能性	入院時死亡リスクが高い可能性	効果を弱める可能性
P.1系統の変異株 (ガンマ株)	2020年11月 ブラジル	N501Y E484K	1.4-2.2倍高い可能性	重篤度に影響がある 証拠なし	効果を弱める可能性 従来株感染者の再感染事例の報告あり
P.3系統の変異株 (シータ株)	2021年1月 フィリピン	N501Y E484K	高い可能性	重篤度に影響がある 証拠なし	効果を弱める可能性
B.1.617系統の変異株 (デルタ株等)	2020年10月 インド	L452R (E484Q)	高い可能性	重篤度に影響がある 証拠なし	ワクチンと抗体医薬の効果弱める可能性

※感染性・重篤度は、国立感染症研究所等による日本国内症例の疫学的分析結果に基づくもの。ただし、重篤度について、本結果のみから変異株の重症度について結論づけることは困難。
※変異株の括弧内の系統名は、新型コロナウイルスに関して用いられている分類方法であるPangolinによる分子系統 IDによる分類系統名。